

# 令和5年度 自己評価及び学校関係者評価表

浦安市立浦安小学校長  
学校関係者評価委員会委員長

## 1 自己評価結果に対する学校関係者評価

〔自己評価の評定は、A(十分に成果がみられた)、B(成果がみられた)、C(成果があまりみられなかった)、D(成果がみられなかった)の記号で表すこと〕

| 評価領域     | 本年度の重点目標                                                                                              | 具体的取組(具体的な指標等)                                                                                                                                                                   | 自己評価 |                                                                                                                                                                                                                                    | 学校関係者評価委員会の意見                                                                                                                                                                                 | 来年度に向けて(改善方策等)                                                                                                                                                          |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|          |                                                                                                       |                                                                                                                                                                                  | 評定   | 成果・課題                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                         |
| 主体的な学び   | 「自ら課題をもち、学び合いを通して考えを広げ、深める子」<br>○ わかる授業の展開<br>○ 人から学ぶ場の設定<br>○ 学習規律の徹底<br>○ 系統的・継続的な学習指導(園小中連携・一貫教育)  | ア 教員の専門性を生かす一部教科担任制の継続実施(「わかりやすい」80%以上)<br>イ 算数を中心に少人数指導の充実(「わかりやすい」85%以上)<br>ウ 学習支援室活用推進教員を積極的に活用した個別指導(週20単位時間以上)<br>エ ICT機器の利活用(教職員80%以上)                                     | B    | 各項目の具体的な指標について、肯定的回答(「そう思う」や「ややそう思う」)は次のとおり上回った。しかし、否定的回答が相当数あったり、「そう思う」が必ずしも高くなかったりする点に改善の余地がある。<br>アイ 児童92%・90% 保護者98%・98%<br>ウ 週20時間以上実施 エ 教職員86%                                                                               | 「本年度の重点目標」が、「浦安市学校教育推進基本計画」から落とし込まれて設定されている点が良い。また、今回、「具体的取組」や、その成果や課題が数値で示され、とてもわかりやすい。(※)<br>各質問項目に対する「そう思う」の割合を更に高められるよう、取り組んでほしい。                                                         | 児童・保護者ともに「授業がわかりやすい」の項目で90%以上の肯定的回答を得た。しかし、児童の10%、保護者の2%は否定的回答であった。児童一人一人に応じたわかりやすい授業が一層推進できるよう、指導体制や指導方法の改善に更に取り組んでいく。                                                 |
| 自他を尊重する心 | 「自他を認める温かい心をもつ子」<br>○ 自己有用感の醸成<br>○ 友達との関わりを通した学ぶ機会の充実                                                | ア 児童が自分のよさや進歩を自認できるようにする場・評価の工夫(「先生は…よいところを認めてくれている」85%以上、「自分にはよいところがある」80%以上)<br>イ 自分に自信をもち、異なる考えも尊重できるようにする場・評価の工夫(「助け合って…考えを広げたり深めたり」(3人に2人以上))                               | B    | 教職員からの肯定的な言葉掛けで、児童の自己有用感が前年度より高まる傾向。「優しく接する」「助け合う」児童は8割前後の状況。<br>ア 「(先生は)よいところを認めてくれている」児童88%・保護者95%、「よいところがある」児童85%(前年度+7ポイント) イ 「助け合って」児童78%、「誰に対しても優しく」児童84%                                                                    | 「主体的な学び」の(※)に同じ。<br>また、教職員が子どもたちの自己有用感を高めるように指導されている点もよい。<br>かつては、校長が示した方向に教師主導で指導されていたが、現在、子ども自身、子ども同士の人権が尊重されている。左記の取組を継続し、更に高めてほしい。                                                        | 異学年交流の推進・充実とともに、園小交流の範囲を広げること等により、年少者と豊かにかかわる活動を更に推進する。また、同学年間については、校内研究(国語)を通して、自他の考えや意見を伝え合い、相互に理解し、互いの考えを広げ深めるような活動を工夫していく。                                          |
| 健やかな体    | 「自分を信じて挑戦する子」<br>○ 体験活動の充実<br>○ 体力の向上<br>○ 命を尊重する授業の充実                                                | ア 児童が主体的に挑戦することができるようにする場づくり・支援の工夫(「自分を信じて挑戦している」70%以上、「粘り強くがんばろうとしている」90%以上)<br>イ 食育、体力の向上、安全、心身の健康に関する指導を各教科等の特質に応じた適切な実施(各テーマについて複数学年で実施)                                     | B    | 様々な体験活動の場を設けた。「挑戦」は上昇傾向、「粘り強さ」は下降傾向である。<br>ア 「挑戦」児童77%(前年度+11ポイント)・保護者79%(前年度-3ポイント)、「粘り強く」がんばろうと」児童85%(前年度-3ポイント)・保護者68%(前年度-16ポイント)<br>イ 食育(1・2年)、体力の向上(マラソン・長縄記録会 全学年、スポーツ教室 4年)、安全(交通 1・3年、防犯 1年、生活・災害 5・6年)、心身の健康(薬物乱用防止 6年)等 | 「主体的な学び」の(※)に同じ。<br>「体験活動の充実」について、新型コロナウイルス感染症が2類の期間、「浦小オリンピック」の新設等で代替活動を工夫されていた。同感染症5類への移行により、様々な活動が再開されたのがよい。<br>また、マラソン記録会や長縄記録会は、子どもたちの挑戦する場としてとてもよい活動になっている。このような姿勢が、地域の活動や行事にも反映されるとよい。 | マラソン記録会や長縄記録会などを通して、子どもたちの「自分を信じて挑戦」する姿勢が高まってきた。適度な困難さの目標を立て、肯定的な評価(言葉掛け)を継続することなど、「粘り強さ」を更に高める工夫をする。<br>体力テストの結果から、運動能力証の認定率等に課題が残るため、体力向上の手立として、年間を通して取り組める活動を工夫していく。 |
| 豊かなかかわり  | 「様々な立場の人と積極的にかかわる子」<br>(重点目標「人を大切にする子 地域を大切にする子」)<br>○ 異学年交流の充実<br>○ 特別支援学級と通常学級との交流<br>○ 地域との交流活動の充実 | ア 学習活動や各種行事における異学年や特別支援学級との交流の計画的な実施(「地区の日」年間5回、なにより学級4年生以上の児童全員の日常的交流)、「誰に対しても優しく接している」90%以上)<br>イ 地域の教育力を生かした積極的な交流、連携による体験活動の充実(「地域の行事や活動に進んで参加」(67%(3人に2人)以上))               | B    | 「地区の日」等、高学年が下学年に対し、優しく接したり楽しく遊んだりする姿が随所でみられる。地域での活動に課題がある。<br>ア 「地区の日」年間5回実施(見込み)、特別支援学級の日常的交流 4年生以上6名(86%)が実施、「誰に対しても優しく」児童84%・保護者94%<br>イ 児童60%(前年度-5ポイント)、保護者54%(前年度+4ポイント)                                                     | 「主体的な学び」の(※)に同じ。<br>地域の人材が書初めの指導を行ってくれている。また、PTAによる夏休みのラジオ体操や子ども会の各地区での活動も計画的に行われている。更に、郷土博物館の海苔すき体験など、地域と密接にかかわる体験活動も行われ、とてもよい。<br>かつて本校児童も参加し行われていた地域の防災訓練等を実施できないか。                        | 地域での行事や活動については、学年が高まるにつれて肯定的回答が下がる傾向がみられたため、まず、その背景を把握する。本校PTAの一機関としての地区子ども会との連携や、最近、地震が多発していることから、地域と共に防災訓練を計画するなど、地域と連携した防災体制の再構築等により、児童と地域のかかわりを高めていく。               |
| 凡時徹底     | 「あたり前のことが あたり前にできる子」<br>○ 「浦安っ子のあたりまえ」の徹底<br>○ 学習規律の確立(再掲)・「学びのスタンダード」の徹底                             | ア 「浦安っ子のあたりまえ」を定着できるような毎月の振り返り、翌月の目標の設定と取組(「自分から進んであいさつ」「時間を守って行動」「話をよく聞く」「(困っている人を)進んで助ける」「一生懸命掃除」各85%以上)<br>イ 「学びのスタンダード」の確実な実施と振り返り(振り返り2回、「意識して」100%)                        | B    | 「掃除」「話をよく聞く」「進んで助ける」の児童の意識は目標値以上、他は課題が残る。同スタンダードは一層の向上が必要。<br>ア 児童「掃除」「話をよく聞く」「進んで助ける」85%以上、「時間」79%・「あいさつ」75%<br>イ 教職員「学びのスタンダードを意識して授業」96%(「そう思う」36%、「やや」60%)                                                                     | 「あいさつ」について、肯定的な回答が相対的に低くなっているものの、浦安小学校の子どもたちは、元気に挨拶をしてくれるという印象をもつ。学校が意図して取り組んできたことが、日常の姿に表れている。前項「地域の行事」等、自分に厳しく評価している項目があるのではないか。                                                            | 「浦安っ子のあたりまえ」について、今後各目標の到達状況をもとに見直し、一部改訂する。(話の聞き方など)<br>本中学校区での「学びのスタンダード」について教職員や児童と共有し、特別活動と連携するなど、より具体的・効果的な手立を工夫する。                                                  |
| 園・小中連携   | 「夢に向かって自分を磨き 地域の未来を切り拓く子」<br>○ 確かな学力<br>○ しなやかな心<br>○ 心身ともにたくましく                                      | ア 「家庭学習ががんばり週間」の中学校区における連携した設定(年3回)による家庭学習習慣の向上(「家で、自分で計画を立てて勉強」(67%(3人に2人)以上))<br>イ 本中学校区グランドデザインによる連携した指導の継続(「中学校区の園小中と連携して諸活動を進めている」保護者85%以上)<br>ウ 園・小中連携の日における情報共有(対面式による実施) | B    | 新型コロナウイルス感染症の5類移行により、園児と児童、児童と生徒との交流など、園小中連携の活動を徐々に再開。<br>ア 同週間を6・9月に実施(「家で」計画を立てて勉強)児童60%で主体的学習に課題(昨年度「宿題を忘れずにしている」89%)<br>イ 「園小中と連携して諸活動」保護者89%(昨年度+5ポイント)で評価がやや高まる<br>ウ 8月21日4校6園参集し実施(7分科会)                                    | 浦安中学校区のグランドデザインをもとに、学区の園小中が連携した取組をしていることを再認識した。<br>更に、浦安高校の書道部が書初め指導を行ってくれたことは、中学校卒業後の姿を身近な先輩から見通せるというよさもあり、とてもよい。園と小学校との交流の場面で、日常では見られない笑顔を見せる子どももいた。今後も交流を継続したい。                            | 近隣のこども園、保育園と交流を深めることができた。今後は、ICT機器等も活用しつつ、交流の機会を増やしたり範囲を広げたりし、園児と児童との関係を更に深める。また、園・小の接続段階における活動内容の重複や逆転状況の有無を見直すことなど、両者の教育課程のより円滑・効果的な接続等について更に取り組む。                    |

## 2 授業、行事、施設等に関する学校関係者評価委員の意見・感想

- 上記評価項目については、教職員からボトムアップ式に設定するなどしてよりよく共有し、年度初めから取り組んでいけるとよい。
- 長年、民生委員や自治会という立場から浦安小学校の子どもたちを見守り、応援してきた。学校は地域にとって「拠り所」であるとともに、「聖域」でもあった。次年度からコミュニティ・スクールになるため、学校と一層連携しながら、様々な地域の活動を活性化させていきたい。
- また、現在、自治会や子ども会等の役員の引き受け手が減ってきている。学校と連携し、魅力のある地域になるよう、今後も継続して活動していきたい。